

## 平成 28 年 5 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

5 月の業種別景況の前年同月比 D I 値は、好転が 2 業種、昨年同等が 8 業種、悪化が 4 業種の結果で、売上高及び収益状況も好転していない。

一部で受注や売上が好調な業種もあるが、依然として受注難や売上の減少が続いている業種も多い。

景気の後退感により個人消費が減少傾向にある。さらには、長引く人手不足や後継者問題も重なり中小企業の先行きは不透明な状況にある。

### 山口県の主要指標 DI 値（平成 28 年 5 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 1.3% 悪化： 37.5% DI 値： ▲36.2% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加： 12.5% 減少： 41.3% DI 値： ▲28.8% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 5.0% 悪化： 31.3% DI 値： ▲26.3% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 28 年 5 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	0.0	▲33.3	▲100.0	▲83.3	▲33.3	50.0	▲39.4
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
▲20.0	▲44.4	▲50.0	▲27.3	▲20.0	▲42.9	▲100.0	▲34.0
							

全 体
▲36.2


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	防府地区では県外資本のスイーツ店の出店により一時的に売上が激減している。角島の対岸に活路を求めて新店舗のオープンあり。6月1日より一部商品の値上げを行った店舗もあった。	パン・菓子製造業
	4月是对前年▲15%と大幅なダウン。5/24時点で▲15%と厳しい状況。GW期間も約10%ダウンで過去5年間で最低の業績。大河ドラマ効果の反動による利用者の減少が続いている。世界遺産による集客効果は限定的である。	水産食料品製造業 萩市
	熊本地震による売上の減少が多少ある。	水産食料品製造業 下関市
	5月とは思えないような暴風雨や長雨で、麦の生育が懸念されている。近年、大震災や豪雨が企業経営に影響を及ぼしており、突然の自然災害へ対応できるようなインフラの整備が必要となってきた。このような自然災害に対応できるような保険制度の充実を望む。	精穀・製粉業
繊維工業	主力販売取引先より7月からのキャンペーン分の追加発注があり、受注が増加し8月末まで受注量がある。実習生受入は、現在、中国人32名、ベトナム人29名の計61名。次回受入はベトナム人6名で有能な人材を受け入れられるようにベトナムで事前面接を予定している。	下着類製造業
	消費傾向として衣料品は苦戦している。	外衣・シャツ製造業 山口市
	仕事が順調に入っているが、消費税増税が開始されれば、消費が落ち込むのではないかと危惧している。	外衣・シャツ製造業 下関市
	アイテムにより差は多少有るものの、数ヶ月先迄の仕事量が確保出来ているため、生産性を上げる事に取り組めるようになった。発注が増加せず、資材等の問題でラインが不安定なため、販路の開拓をしているが条件が厳しく受注できない。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	組合員の中で1社倒産したが、製材業とともに行っていたガソリンスタンドの経営に行き詰ったものと思われる。	製材業・木製品製造業
印刷	印刷業界においては、市場の縮小やインターネットによる受注業者市場参入により、過当競争の状況が続いており、この影響を受けて販売価格の下落傾向が続いている。	印刷 下関市

	5月は休日が多い中、受注は昨年並みに有り売上も横ばいで済んだ。6月が厳しそう。	印刷 山口市
窯業・土石製品	公共工事がほとんどなくなり民間の工事が少し入る程度。厳しい状況がまだまだ続く模様。 (平成27年5月)骨材 78%、路盤材121%、再生材 68% ↓ (平成28年5月)骨材 70%、路盤材109%、再生材111%	砕石製造業
	出荷量は前月比96%、対前年同月比96%。例年、年度当初の出荷量は年度末より減少する。現在、セメント・骨材等の資材調達で特に問題は生じておらず、生コン価格も安定している。	生コンクリート製造業
	先日の組合総会では景気の良い話は出てこなかった。後継者について、「子供が継ぎたいと言うのなら良いが無理に継がせる必要はないのでは」との意見が出た。後継者問題もこの先考えなければいけない問題のひとつである。	石工品製造業
	5/24付けで理事長が交代。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	4月、5月は財務関係の処理に追われる。海外工事関係については、依然受注が無い。マツダ自動車関連の金型は良好な受注状況で6月も順調の模様。	一般機械器具製造業 防府市
	機械検査、機械加工関係の下請け企業の受注状況に陰りがみられ残業が減っていたが、回復のきざしあり。惣菜、自動車関係は好調で残業も多い。食品加工、食肉加工業、溶接関係、惣菜では、派遣を活用しているが人材確保が困難であり、外国人技能実習生受入の増員や新規の相談が多く、4月から対象職種になった自動車整備から問い合わせがある。国が審議中の介護事業者からの問い合わせも増えている。	一般機械器具製造業 宇部市
	全項目すべて、前年同月とほぼ同じ状態で推移している。	一般機械器具製造業 宇部市
	5月の金型設備操業度は4月よりやや伸びた。5月の出荷量は予定量よりやや低下したが、6月には現状の仕事を出荷予定で、上期売上目標をクリア出来そうな状況。まだまだ受注量が足りないため受注の促進に努めている。成形製品の生産状況は、連休のため稼働日数が少なかったわりに売上・稼働率とも昨年に比べ上昇したが、6月以降は先が読みにくい状況。	特殊産業用機械製造業
輸送機器	車輛製造部門、精密加工部門とも作業量に恵まれている状況。特に加工部門は当初予想より好況が年内は続く見通しで、車輛部門もいよいよ本格的な増産	鉄道車両・ 同部品製造業

	体制となっている。	
卸売業	熊本地震の影響で中止した海苔の共同販売を開催したところ、453ケース163万枚の出品があり、平成27年度漁期の全国共販の全日程が終了した。 全国累計枚数 27年度：74億4,029万枚 (26年度：81億4,782万枚) 全国累計金額 27年度：856億6,723万円 (26年度：853億5,394万円) 前年比で3億1,329万円の増収となり、平均単価1円3銭ほど高くなったことに伴い、当組合も28.7%の増収となった。	乾物卸売業
	“ふく”のシーズンは完全に終わり、その他のイサキやタイなどの鮮魚の入荷は多いが、値段が安く、儲けも少ない。秋口からの“ふく”の入荷量を今から心配している。	生鮮・魚介卸売業
	組合員のほとんどの景気があまり良くなく、苦戦している模様。	各種商品卸売業 防府市
	燃料が連続で値上がり、収益への影響が懸念される	各種商品卸売業 山口市
	売上高は前年同月比で10%ほど伸びているが、前年は消費税増税後の落ち込みがあったため回復に長い時間がかかった。現在は、業界の動向も安定しており大きな変化は無い。しかし地域の将来の展望は、とても楽観視できるものではなく、急速に進む少子高齢化、人口減少という問題が大きい。公共事業の縮小や住宅着工戸数の減少など、プラスになるものではなく、新しい事業展開の取り組みをせざるを得ない。従来の企業モデルのままの経営を続ける企業は淘汰されることが容易に考えられ、高齢化社会に対応できる事業展開を模索している。	各種商品卸売業 下関市
小売業	メーカー化粧品の取扱店のほとんどで売上が減少しており、地域性は関係なさそうである。また、例年は夏に向けて日焼け止めなどシーズン商品が売れる時期だが売れていない。インバウンドも引き続き感じられない。	化粧品小売業
	組合員の小売商店はギリ貧状態で良くなる兆しは見えず、現状維持が精一杯の状態。地区内の中小企業者の動向は、消費税増税の再延期が正式に発表され大きなニュースとなった。上げなかったのは歓迎であるが、それで景気が良くなるとは思えない。年金暮らしの人の財布の紐は固く、少子高齢化が加速している同地区では将来展望に乏しい。これからの国の政策に期待したい。小規模事業者への求職希望者が少なく人手不足で労務管理に苦労している。	各種商品小売業 岩国市

	中心市街地唯一のスーパーマーケット「丸和」が5月末で閉店した。	各種商品小売業 周南市
	5月は前年より休日が1日少ないが、売上は+3.0%となった。なお4月の実績は+3.5%であった。	各種商品小売業 山口市
	個店で売り出しを実施したところ、5/25現在での売上は、全店ベースで前年を上回り、既存組合員店ベースでも客数、売上とも前年を上回る状況。	各種商品小売業 長門市
商店街	婦人服中心の衣料品店全般で連続して売上がマイナスとなっているが、化粧品、雑貨、小物商品は売上が増加している。飲食店関係でマイナス幅が減少している。熊本地震の募金活動として各店舗とアーケード街中央に募金箱を設置し、5月末まで実施。	山口市
	6/3～5日、「平成28年熊本・大分地震 復興支援アートチャリティ in やまぐち」として画家、イラストレーター、陶芸家、フォトグラファー等によりイベントを開催する。	宇部市
	売上は4月同様、低迷している。	萩市
サービス業	総会等で組合員との会議等が多かったが、特に現状に対する意見・変化等は聞かれなかった。ただ、現在、中央で行われている規制緩和の検討委員会の結果に対しては、たいへん興味を持っている。	美容業
	依然として理容業界は厳しい環境。後継者不足、高齢化のため組合脱退を余儀なくされる方々が増えてきている。新規組合員獲得のための方策を検討し実施している。	理容業
	先月末に明らかになった自動車メーカーの燃費不正問題により該当する車種を取り扱う販売店は、販売台数が激減するなど県内にも影響が出てきている。	自動車整備業
	介護業者から何か一緒にできたらと話があった。	スポーツ・健康教授業
	宿泊者数、売上とも対前年同月比110%の伸び率となり順調であった。熊本地震の影響で旅行先を変更し当地の宿泊者が出てきている状況が伺える。	旅館業 山口市
	熊本地震の影響で関西方面からの修学旅行でキャンセルが多く発生。また、ゴールデンウィークの悪天候もあり売上は例年を大きく下回った。	旅館業 下関市
	入浴施設利用者は減少傾向が継続している。売店部門はレストランのスタッフが充実し売上高が上昇した。全体として売上高は横這い。	旅館業 長門市

	<p>零細企業の多い飲食業界では客足の減少と収益の悪化が続いている。また、大手・零細にかかわらず格差が進行している。しかしながら、地域に密着し顧客ニーズにより支えられているお店は、景況に左右されない強みを発揮しているところも見受けられる。これは景況とはかかわりのない経営能力と地域（立地）条件、地域づくりの熱意といったものがあるように感じられる。景気はいいのか悪いのか先行き不安で元気がないのが現状だ。</p>	飲食業
	<p>繁忙期が続いている。しかしながらゴールデンウィーク以降、毎週週明けが雨で集荷量が安定せず大きな山のない平均的な繁忙期となっている。6月以降もこのままで例年並みの売上があるかどうか先が読めない。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>4月の山口支部中電への工事申請は149件（前年は126件）。太陽光発電への申請7件、オール電化申請3件（前年は太陽光21件、オール電化37件）、LED街路灯への切替・新設申請46件（前年は42件）であった。</p>	電気工事業
	<p>公共工事が減少している中で東京、東北及び熊本に工事が集中し、他地域では大きく減るものと予想されるが、10数年の不況に耐えてきた事業所は雇用者を減らしながらも乗り越えていくものと思われる。技能者不足で技能者をあまり必要としない工法の採用が進んでいる。</p>	左官業
	<p>組合員数も減り13社となった。組合としては官公需の受注を止め平成13年度以前の組合の状態にもどり、会費収入のみで組合運営をすることとなった。</p>	管工事業 岩国市
	<p>5月は入札も開始となり昨年と同等の受注量で一安心だが、売上高に反映されるのは工事終了後の4ヶ月後となる。発注は燃料費単価が安い時を基準となったが、人件費等の見直しがなされ、取引条件としては好転をしている。業界の景況は、好転までではないが気持ち程良くなったように感じている。</p>	管工事業 周南市
	<p>5月は、工事が一段落して全般的に工事の空きがみられる。7月頃まで一時的に状況は悪くなるが、それ以降は工事が集中すると思われる。</p>	内装工事業
	<p>工期の平準化を国交省が提唱し県サイド位までが実施しているが、市町村は全く実施しておらず、動きが悪い。山口県建設業協会は熊本県建設業協会に支援金を送っている。山口県の各支部は日本赤十字社を通して支援金を送る準備をしている。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>我が地域は残念ながら、例年通り公共工事の発注はない。</p>	土木工事業 周南市

	28年5月の受注高は、対前年同月比35%。	土木工事業 萩市
運輸業	<p>輸送関係は連休に稼働率8%弱のマイナスで、連休明けからは徐々に上向いたものの全体的には対前年同月比6%のマイナスとなった。輸出はやや上昇。国内向け輸送は変わらず。相変わらずの中長距離ドライバー不足で待機車両が多く、運送業者泣かせの現況。燃料費は3.3円の値上げ。油価格が不安定で売り買いの両業者とも一喜一憂である。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	5月の輸送受注実績は前年同月比で10%程度落ち込む見通し。組合受注は自動車関連の輸送が主で総じて悪い状況。保管庫関係は安定している。燃料費は今年の3月が底値で、4月、5月と上昇に転じている。	一般貨物自動車運送業 防府市
	運送業界は、全体として物量は増加傾向にあるように感じる。ここ最近の相次ぐトラック・バスの重大事故の影響により、コンプライアンスに対する国からの監視が厳しい。倉庫業に関しては安定して荷動きがある。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	新年度を迎え新体制となり、新たなる挑戦をしようと理事会を定期的に行い連絡を密にすることとした。燃料費が先月より3~4円の値上げの方向であり、運送業者には厳しい時代が続いている。	一般貨物自動車運送業 下関市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲7.3%（平成28年4月1日～平成28年5月20日分）4月1日～30日分は▲7.2%、5月1日～20日分は▲7.4%です。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域だが、4月分については、周南▲6%、下松▲13%、光▲13%、防府▲11%で、組合員の全域で▲8.3%、地区外（員外）+52%（金額少）で合計▲7.2%。昨年4月に県会議員選挙があった事や、防府競輪の大きなレースがあった反動も考えられるが、景気後退感から個人消費が減少傾向にあるのは間違いないと思われる。当地区のタクシー事業が特に不況業種なのかも知れないが、緩やかな回復基調が続いているようには思えない。主要燃料であるLPGは、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、為替が少し円高になったが、ブタン、プロパンのCPが少し上がり（前月335\$/トンが今月365\$/トン）前月比+2%になった。それでも、前年同月比で15%安価となっており、車両代や整備費用が上昇しているなか、燃料費が下がるのは大いに助かっている。</p>	一般旅客自動車運送業
その他非製造業	介護業界では相変わらずの人手不足が問題。また、職員の平均年齢も高く、今後の課題は若者の就労に力	介護事業

	を入れるべきだと思う。	
--	-------------	--